

ヒラマサ養殖で築く 経営安定化と新たな挑戦

●水産経済新聞記事 2012年12月7日

The Daily 2012.12.7Fri

Sui-Kei
水産経済新聞
http://www.sui-kei.co.jp/

小浜水産 ヒラマサ養殖で築く経営安定化と新たな挑戦

カンパチ、ブリとの「三本の矢」で逆境克服

12月に入り、九州地方の養殖場はヒラマサの出漁シーズンを迎えた。ブリ、カンパチがつかない無漁期の空白にさらされる中、経営を支える今後の有様を懸念して期待されているのが、このヒラマサだ。養殖業者・鶴江漁の大平重雄（小浜水産）は、いよいよヒラマサを主力として、経営の安定化を期す。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。

（水産経済新聞・大平重雄、中村典也）

ヒラマサ「地産地消魚の王者」

生産も消費もその
多くが地元九州で



「地産地消」の王者と称されるヒラマサ。その多くが地元九州で生産・消費される。このヒラマサは、九州地方の養殖業者にとって、今後の経営を支える重要な魚種である。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。

生産量6万尾―全国屈指 魅力は安定した 需要と高い魚価

この魚種は、九州地方の養殖業者にとって、今後の経営を支える重要な魚種である。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。



「地産地消」の王者と称されるヒラマサ。その多くが地元九州で生産・消費される。このヒラマサは、九州地方の養殖業者にとって、今後の経営を支える重要な魚種である。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。

給餌法「オバマスタイル」で 理想的増肉と脂質向上 さらにコストの減少も

「オバマスタイル」とは、理想的な増肉と脂質向上を実現するための給餌法である。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。

来シーズンに向けて着々 カンパチ 新ブランド立ち上げ ブリ 海外販売を積極展開 ヒラマサ 関東で新需要の開拓

カンパチ、ブリ、ヒラマサの3つの魚種は、今後の経営を支える重要な魚種である。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。

1年でも出荷量を4割アップに 早出しで実現する 巧みな販売戦略方法

「早出し」は、魚の新鮮さを保ち、消費者のニーズに応えるための重要な戦略である。今回は、その挑戦した経営戦略と、魚価の安定化に必要となる取り組みのあり方を語る。



「カンパチをはじめとする小浜水産の養殖魚、自信をもってお勧めします」

「カンパチをはじめとする小浜水産の養殖魚、自信をもってお勧めします」



「カンパチをはじめとする小浜水産の養殖魚、自信をもってお勧めします」